科学新聞

週刊 (金曜日発行)
発行所 科学新聞社
本社（〒105-0013）
東京都港区浜松町1-2-13
電話 03-3434-3741
FAX 03-3434-3745
mail:edit@sci-news.co.jp
振替 00170-8-33592
購読料 1ヵ月
2,160円（消費税込）

スギ成分使い
自動車部品 4面

URAの位置づけに共通概念を

研究大学コンソーシアムが提案

URA（リサーチ・アドミニストレーター）は、何らかの専門性を持った上で、大学全体を見ることのできる俯瞰能力を持つべきである。そのために必要な全国統一の業務履歴や評価シートを導入したい。研究力強化に積極的に取り組む33機関の研究担当理事や副学長で構成される研究大学コンソーシアムは25日、URAの定義付けや内在化、流動化・資保証などについて提案を取りまとめた。タスクフォースの座長を務めた山本進一自然科学研究機構客員教授は「今回示したものはあくまでモデルであり、各大学の実情に合わせて活用してほしい」と話す。

全国統一の業務履歴や評価法導入

運用は各大学の実情考慮

タスクフォースは、各大学等において、現在の主な雇用財源である研究大学強化促進事業終了後もURAが定着するため、大学等への内在化、人材流動化などについて、大学執行部の立場から、好事例やエビデンスの収集、必要な方策に関する情報共有・議論を行うために設置された。これまでタスクフォースを2回、作業部会を4回開催し、抽出した論点について取りまとめた。

URAには、教員職のような深く高度な専門性と、事務職のような分野に偏らない知識と経験、大学等機関全体を見る俯瞰能力が求められるため、それらを両立できる人材を目指す。その上で、URAの職階について4階級の分類を提案した。

職階は4階級に分類

企画・計画立案から実行まで責任を持ち、組織を統括し、実行することができるシニアURA（教授、部長クラス）。与えられた職務について、独自に計画を立案し、下位職のURAを指導し、チームを率いて、遂行することができるチーフURA（教授・准教授、部長・課長クラス）。与えられた職務について、上位職と連携し、計画を立案し、遂行することができるアソシエイトURA（准教授・講師、課長・係長クラス）。与えられた職務について、上位職の指示を受け、遂行することができるアシスタントURA（助教、係長・係員クラス）。

ただし、各大学ではすでに様々な職階があるため、4つの階級の内容を共通理解として、対応表などを示していく。

URAはそれぞれコアな専門性を持つことを基盤とし、大学等の研究活動を、研究者の視点および事務方の視点の双方からの横断的な機能を持って支え、大学等における研究活動、研究力向上に向けた取り組みを自発的かつ積極的に推進する人材であってほしい。そのため、URAの評価と資保証については、その強みとなる専門性の深みを評価しつつ、大学等での経験と実績、活動の幅の広がりも評価できるようなかたちのものが良いとして、URA等業務履歴書、URA等評価シートの案を示した。

さらに、URAの雇用を内在化するため、運営費交付金等の自己財源の活用（教員枠・事務職枠の承継ポジションの活用等）、大学全体の間接経費の運用とその活用（年俸制有期・無期雇用等）、大型外部資金・プロジェクト資金の獲得とその活用（年俸制有期雇用等）という3つの方法論を示した上で、プロジェクト等による有期雇用に際しては、その期間終了後のURAの有期雇用から無期雇用への転換に関して、明確な方針を示しておく必要があるとしている。

これを機に制度設計進展期待

研究大学にとってURAはなくてはならない存在になってきている。一方で各大学によって求められる能力や資質は異なっている。今回の提案は、URAの基本的な位置づけなどについて共通概念を示したものだ。これを皮切りに、キャリアパス形成のための質保証制度の設計などが進むことが期待される。